

科目名	高齢者福祉論					単位	2.0
担当教員	伊東 真理子						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	3111

●授業のテーマ

高齢化の進行と諸問題

●到達目標

高齢者の生活実態と、これを取り巻く社会について理解する。

●学習内容(授業概要)

現代社会における高齢問題を浮き彫りにした上で、その現状と課題について、世界との比較も含めて、理解することを目的とする。

●学習内容(授業計画)

1. 現代社会と高齢化問題
2. 高齢者の生活実態
3. 家族の変貌と介護問題
4. 高齢期の居住問題
5.       "       "       —グループ学習
6. 高齢者福祉制度の発展過程
7. 認知症ケアの基本的考え方
8.       "       "       の実際
9. 世界の高齢者福祉政策Ⅰ—総論…高福祉高負担、中福祉中負担、低福祉低負担
10.       "       "       Ⅱ—各論…北欧型、アメリカ型、日独型、伊仏型
11. 終末期ケアの基本的考え方
12.       "       "       の実際
13. 高齢者の人権
14.       "       "       —グループ学習
15. 前期のまとめ

●準備学習・事後学習の内容

予め関連項目を調べておく。授業後は要点をまとめること。

●成績評価方法・基準

毎回の発表(50%)、レポート(50%)

●テキスト(必携)

≪No.1.≫書籍名:『高齢者福祉政策の研究』、著者名:伊東 真理子、出版社:黎明書房

≪No.2.≫書籍名:『学びを迫る高齢者福祉』、著者名:編著 杉本敏夫 橋本有理子(第4章伊東真理子)、出版社:保育出版社

●参考文献/その他

2008年度版『高齢者白書』

●履修上の注意

特になし。

